

地元特産の海苔はおいしいね 市内小中学校の給食に海苔が登場！



2月14日、市内の全小中学校の給食に地元産の海苔が登場しました。この海苔は、2月6日の「海苔の日」にちなみ、地元特産の海苔のおいしさを子どもたちに味わってほしいと、本市の荒尾漁業協同組合と長洲町の熊本北部漁業協同組合により寄贈されたものです。海苔の日は、1966（昭和41）年に、海からの贈り物である海苔に感謝しようと制定されました。

一人につき全形一枚の海苔が配られると、その大きさに目を丸くする子どもたち。給食の時間が始まると、海苔だけをかじったり、海苔巻きにして食べたりするなど、思い思いの食べ方で郷土のめぐみを堪能していました。清里小3年の^{なぐらあきと}中村晶翔さんと^{くろさきみよこ}黒崎美陽子さんは、「パリパリしておいしい」、「海苔巻きにして食べたよ」と笑顔で話し、教室には子供たちの歓声が響いていました。



2月6日、市役所で行われた贈呈式